

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス T-DREAM HOUSE		公表日		R7年 1月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		法令遵守している。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、機具の配置数は適切であるか。	13		法令の規定に基づき、業務計画で発達支援室等1名以上配置している。また、利用者などの利用目的や機具の配置に努めている。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく機能化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	13		毎日掃除を行ったり、手洗いの励行や加湿器等で感染予防もしている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の感覚や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		集団から離れ、気持ちよく過ごせるためのグループ活動がある。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	12		食費で参画できるように努めている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	13					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	13		日々の情報共有に加え、定期的な会議を行っている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられているか。	11	2	相談できる他事業所やアドバイザーの存在がある。	よりよい支援が提供できるよう、様々な他事業所と情報共有を行う。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		研修内容を随時スタッフに通知案内し、各自が自主的に研修を受講している。また、研修報告としてスタッフ間で共有もしている。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		児童発達支援管理責任者を中心に定期的に、児童個々に対しての適切な支援方法を検討している。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個々の利益を考慮した検討が行われているか。	13		日々の情報共有や、話し合いなどを通じて随時検討している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		個別支援計画に基づいた支援・記録ができるような体制をとっている。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれ及び支援内容を記載しながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		児童が楽しく活動できる内容。また、その中で、療育として適切な内容をスタッフ全員で検討するようにしている。	児童や保護者様からのご希望も考慮しながら、検討していきたい。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		保護者様からの報告や連絡に学校の先生からの報告なども情報共有し、発達・心療・安全面などにも配慮するようにしている。			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		その日の児童個々の様子や、支援が適切であったか、改善点はないかなどを情報共有を実施している。	療育のスタッフ配置（立ち回り）なども含め、その状況に合わせた対応ができるスタッフの育成。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげられているか。	13		毎日、個別支援計画の目標を達成できるような視点で記入するよう努めている。			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	13					
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を徹底組み合わせて支援を行っているか。	12					
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	13		児童の気持ちを理解し、尊重するような関わりを実施している。自由時間でも遊ぶ児童の選択を出来るようにしている。			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	13			児童発達支援管理責任者を中心に毎回参加するようにしている。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2		地域部会などへの参加		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、施設調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		学校への対応方針など先生方と情報共有するなど連携をとるようになっている。			
	29 放課後に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		必要があれば情報共有していく。		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	7	1		開所から限もないが、質問に該当する児童がいない。しかし該当児童があれば情報提供する意向である。		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1		会議を通じて情報共有を行う		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	1		関係者との交流だけでなく、放課後等デイサービス事業所児童との交流や、暑中・寒中あいさつを通して他のこどもの顔を見つめようとしている。		
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。		4		今後は参加するように予定している。		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			送迎時などに当日の様子などを伝え、問題があれば察察に繋がるよう一緒に検討している。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2		研修を含め今後開催出来たらと考えている。		
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13					
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の最優先の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13					
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13					
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13			相談が受ければ時間を取って対応している。		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者間で交流する機会を創出しているか。また、きょうだいで交流する機会を創出する等の支援をしているか。	7	5		今年度「親子フットサル」を一度開催した。保護者会などは今後開催検討中である。		
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13					
	42 定期的に連絡等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13					
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			個人情報情報は鍵付き書庫に入れるようにしている。商業時にはコンピューターをかけるようにしている。		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			その児童に伝わりやすい方法（視覚的に絵や文字に起こしたつなど）を構築し伝えている。		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	2		祭りの際	招待はしていないが、祭りなどで地域の方が参加できるような内容も考慮し、顔の見える関係作りを努める。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13					
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。					現在、準備中。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	13			保護者様から発作時の対応等情報を共有してもらい、対応できるようにしている。		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			アレルギーがある児童を把握し、クッキングなどで使用する食材には注意している。アレルギーの把握はしているが、医師の指示書はない。		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	13					
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		同法人が運営しているスクール保護者にも、周知するようになっている。		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	13			事業所だけでなく、法人として解決策を検討している。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13					
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	2		そのようなケースがないが、今後あれば記載していく。			